


一見複雑に見える字でも.....

たとえば“整”という漢字について考えてみましょう。この字などは、大変字形が複雑に見えますが、英語に直しますと、to put (things) in order に当たります。つまり、整という漢字一字に、少なくとも、英語の put, things, order という三つの単語の意味を備えているのです。

“女”は、英語の put“束”は、things“正”は order の意味を持っています。女はで手に棒もしくは鞭を持つ形を表わした字です。だから、“牧”や“教”は、前者は“牛”に、後者は“子ども”に対して、鞭をふるう意味の字で、英語の put に当たるものです。

“束”は木と口()とで木をたばねてなわをかけたことを表わした字で、“木のたば”という意味の字で、英語の things に当たっています。

“正”は、足の裏の形で“とどまる”ことを表わした“止”と、“一”とで、止まるべき線に“ただしく”止まることを表わした字です。英語の order に当たる字です。

『木を束ねますと、引っ込んだ棒や飛び出た棒があって、両端が不ぞろいになるものです。そこで、棒を持って飛び出た所をたたいて、両端

をきちんとそろうようにします』という意味を“束”“女”“正”の三つの部首でぴたっとうまく表わしたのが“整”という字です。

to put (things) in order.....これだけの意味を、たった一字で表わすのですから、“整”が一見複雑に見えるのも当然です。英語流に横に一列に並べて、束女正、と三字で表わしたら、一字一字はずっと簡単になりますが、そのかわり、意味の読み取りは不便になります。

しかも、この字の発音は、束・女・正の三字のうちで、最も重要な意味をうけ持つ“正”がこれを表わしています。このように、漢字の構造を理解しますと、複雑に見える漢字でも決して複雑ではないのです。